

1 新規機能性食品等開発研究会の運営に関する事業  
2 広報・啓発事業

実施事項	静岡県フーズ・サイエンス リーディング・アドバイザー会議 「おいしいフーズ・サイエンスフォーラム」	
目的	フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの更なる研究開発の促進と食品関連産業の振興・集積の実現を図るための、支援機関との相互連携と双方向性等、課題解決を意識した講演と意見交換の実施	
内容	開催日	平成28年11月24日(木) 13:15~19:15
	会場	静岡県男女共同参画推進センター「あざれあ」大会議室
	講演1	演題:『美味しさと味覚の本質をさぐる』 講師:東京大学名誉教授 阿部啓子氏 内容:食と健康の研究成果について、味覚を切り口にして最新の知見とともに解説
	講演2	演題:『香りで感じる食べ物の美味しさ』 講師:東京大学農学生命科学研究科教授 東原和成氏 内容:食品の香りに関する研究成果と、食品開発への応用の可能性について解説
	パネルセッション	座長:堀川センター長 パネリスト:阿部啓子氏(東京大学名誉教授、リーディングAD) 東原和成氏(東京大学農学生命科学研究科教授) 神山かおる氏(農研機構食品物理機能ユニット長、リーディングAD) 常木明氏(元シヤンソン化粧品副社長、リーディングAD) 中久喜輝夫氏(フーズ・サイエンスセンター事業化CD) 内容: 主に会場からの質問に各分野の専門家であるパネラーが答える形で、忌憚のない意見交換を実施
セッションでの意見(抜粋)	昨今の食関連の国家プロジェクトでは、出口戦略まで求められており、特定の会社に利益が流れる仕組みは通用しない 産学官が連携することでプラットフォームを大きくし、関係する企業を増やし、全体として発展させる必要がある	
	静岡県産の農林水産物は豊富でレベルが高いが、その機能性成分の解明や科学的根拠の取得が遅れており、素材開発の足かせとなっている 解明作業を中小企業での実施は難しく、県としての支援が必要である	
	産学官が一体となることで、日本有数の健康長寿県として、健康のエビデンスを確立させ、日本中へ、また世界へ発信させることも可能になる 県、市、公設機関が一体となり、静岡の食産業の発展に寄与したい	
参加者	講演会	90名
	交流会	40名
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆静岡県フーズ・サイエンス リーディング・アドバイザーの主旨 「フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの更なる研究開発の促進と食品関連産業の振興・集積の実現を図るため設置する。フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの推進に係る重要事項の助言等に関することを業務とする。」</li> <li>◆コーディネータ連携会議の目的 「フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトに関係する機関を持つコーディネータ機能の充実及びネットワーク化を図ることで、プロジェクト全体のコーディネータ機能の強化を目的とする。」</li> <li>◆新事業創出支援ネットワーク静岡の目的 「各産業支援機関情報共有及び共同事業の推進を図り、もって各機関の相互連携強化を目的とする。」</li> <li>◆フーズ・サイエンスフォーラムの目的 「フーズ・サイエンスヒルズを広く知っていただき、プロジェクトへの参画を促進するため、プロジェクトの概要や取組を紹介する。」</li> </ul>	

